

毎月勤労統計調査 平成22年の動き (概要)

5人以上規模の事業所について

1 平成22年の特徴

- (1) 調査産業全体の現金給与総額は、前年と同水準となった。
きまって支給する給与は0.9%増、特別に支払われた給与は4.4%減となった。
- (2) 製造業の所定外労働時間は、前年の反動等もあり、前年比37.2%増と前年を上回り、比較可能な平成3年以降で最大の増加幅となった。
- (3) 調査産業全体の常用労働者数は、前年比1.2%減と2年連続で前年を下回った。

2 賃 金

- (1) 広島県 ⇒ 調査産業全体の現金給与総額は、前年と同水準
調査産業全体のきまって支給する給与は、前年比0.9%増
- (2) 全 国 ⇒ 調査産業全体の現金給与総額は、前年比0.5%増
調査産業全体のきまって支給する給与は、前年比0.3%増

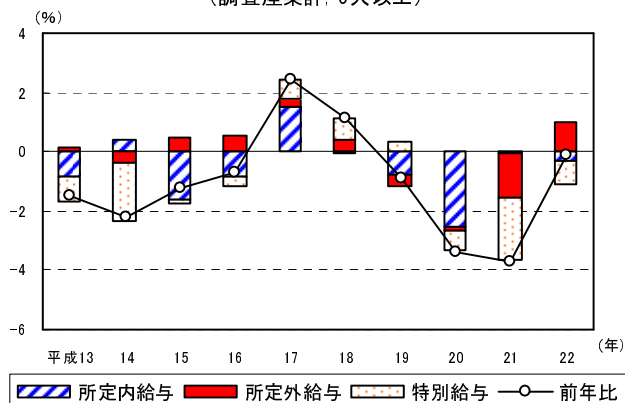
5人以上

項 目	広 島 県		全 国	
	実 数	前年比	実 数	前年比
	円	%	円	%
現金給与総額	306,362	0.0	317,092	0.5
きまって支給する給与	255,400	0.9	263,284	0.3
所定内給与	235,409	△0.3	245,098	△0.2
所定外給与	19,991	17.8	18,186	9.1
特別に支払われた給与	50,962	△4.4	53,808	1.5

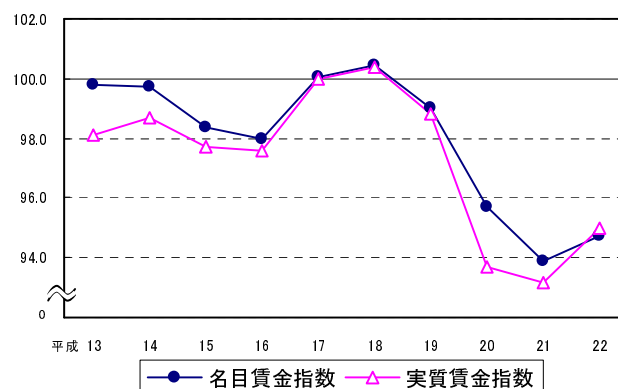
30人以上

項 目	広 島 県		全 国	
	実 数	前年比	実 数	前年比
	円	%	円	%
現金給与総額	346,351	1.8	359,791	1.3
きまって支給する給与	281,908	2.5	291,228	0.9
所定内給与	256,222	0.8	267,375	0.2
所定外給与	25,686	21.3	23,853	11.2
特別に支払われた給与	64,443	△0.3	68,563	2.6

現金給与総額の前年比に対する項目別寄与度の推移
(調査産業計、5人以上)



実質賃金と名目賃金指数の推移
(きまって支給する給与、調査産業計、5人以上)

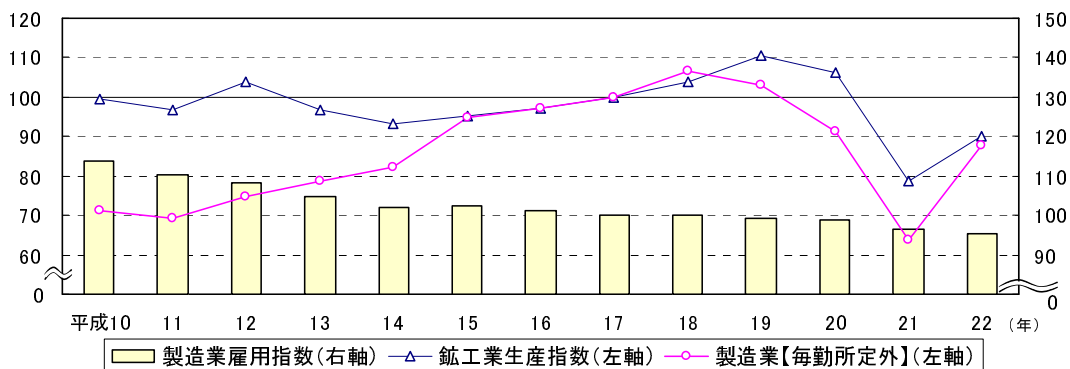


3 労働時間

- (1) 広島県 ⇒ 調査産業全体の所定外労働時間は、前年比 16.1%増
 製造業の所定外労働時間は、前年比 37.2%増
- (2) 全 国 ⇒ 調査産業全体の所定外労働時間は、前年比 8.9%増
 製造業の所定外労働時間は、前年比 32.3%増

項 目	5人以上				30人以上			
	広 島 県		全 国		広 島 県		全 国	
	実 数	前年比	実 数	前年比	実 数	前年比	実 数	前年比
	時間	%	時間	%	時間	%	時間	%
総 実 労 働 時 間	150.2	1.3	146.2	1.4	153.9	2.3	149.8	1.8
所 定 内 労 働 時 間	138.8	0.2	136.2	0.7	140.4	1.0	137.8	1.0
所 定 外 労 働 時 間	11.4	16.1	10.0	8.9	13.5	18.5	12.0	10.5
所定外労働時間(製造業)	16.8	37.2	13.9	32.3	18.1	45.4	15.4	31.6

製造業の所定外労働時間指数と鉱工業生産指数の推移(5人以上)



4 雇 用

- (1) 広島県 ⇒ 調査産業全体の常用労働者数は、前年比 1.2%減
 調査産業全体の一般労働者数は、前年比 2.8%減
 調査産業全体のパートタイム労働者数は、前年比 3.5%増
- (2) 全 国 ⇒ 調査産業全体の常用労働者数は、前年比 0.3%増
 調査産業全体の一般労働者数は、前年比 0.3%減
 調査産業全体のパートタイム労働者数は、前年比 2.1%増

項 目	5人以上				30人以上			
	広 島 県		全 国		広 島 県		全 国	
	実 数	前年比	実 数	前年比	実 数	前年比	実 数	前年比
	人	%	千人	%	人	%	千人	%
常 用 労 働 者 数	974,375	△ 1.2	44,142	0.3	570,254	△ 0.9	26,152	△ 0.5
一 般 労 働 者	707,793	△ 2.8	31,873	△ 0.3	440,502	△ 0.7	20,031	△ 0.8
パ ー ト タ イ ム 労 働 者	266,582	3.5	12,269	2.1	129,752	△ 1.0	6,121	0.8

常用労働者数の前年比に対する就業形態別寄与度とパート比率の推移
 (調査産業計, 5人以上)

